

内閣総理大臣

菅 直 人 殿

平成 22 年 6 月 11 日

自 由 民 主 党

### 口蹄疫問題についての申し入れ

- 4 月 20 日に感染が確認されてから 53 日目。6 月 9 日には、全国屈指の畜産地域である宮崎県南部の都城市で感染が確認、さらには、県北部の日向市、県中部の宮崎市でも感染が確認され、宮崎県全域規模に広がるなど、政府の初動の遅れ、対応のまずさ等もあって、事態はさらに悪化し、新たなステージに入っている。
- もはや宮崎県のみの問題ではなく、九州、国として畜産業を守らなければならない非常事態を宣言すべきである。
- ウィルスの潜伏期間は、牛は約 1 週間、豚は 10 日間と言われており、今後どのように拡散していくのか国・国会としても注視し、責任ある対応をすべきである。
- 以上の観点から、
  - ①会期を 2 週間程度延長し、国会として万全の対応をとるよう求める。
  - ②本件は、国家全体に関わる重大な問題であり、衆参両院に特別委員会を設置し、定例日を設けず随時委員会開催ができることとし、迅速に対応すべきである。

以上、申し入れる。